

1. ダム通砂／排砂運用実施概要

①出水の概要

- ・梅雨前線の影響により、球磨川流域では2018年6月18日より雨が降り始め、期間中の瀬戸石ダム流域における最大雨量は、湯前横谷地点における時間雨量61.5mm、日雨量278.5mm(6/20)であった。

気象庁雨量データ(5日間総雨量)

| 観測地点 | 人吉 | 山江 | 五木 | 多良木 | 湯前横谷 | 上 | 一勝地 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総雨量(6/18~6/22) | 280mm | 193mm | 195mm | 253mm | 410mm | 322mm | 196mm |

- ・その結果、瀬戸石ダムの最大流入量は3,051m³/秒(6/20 11:00)であった。

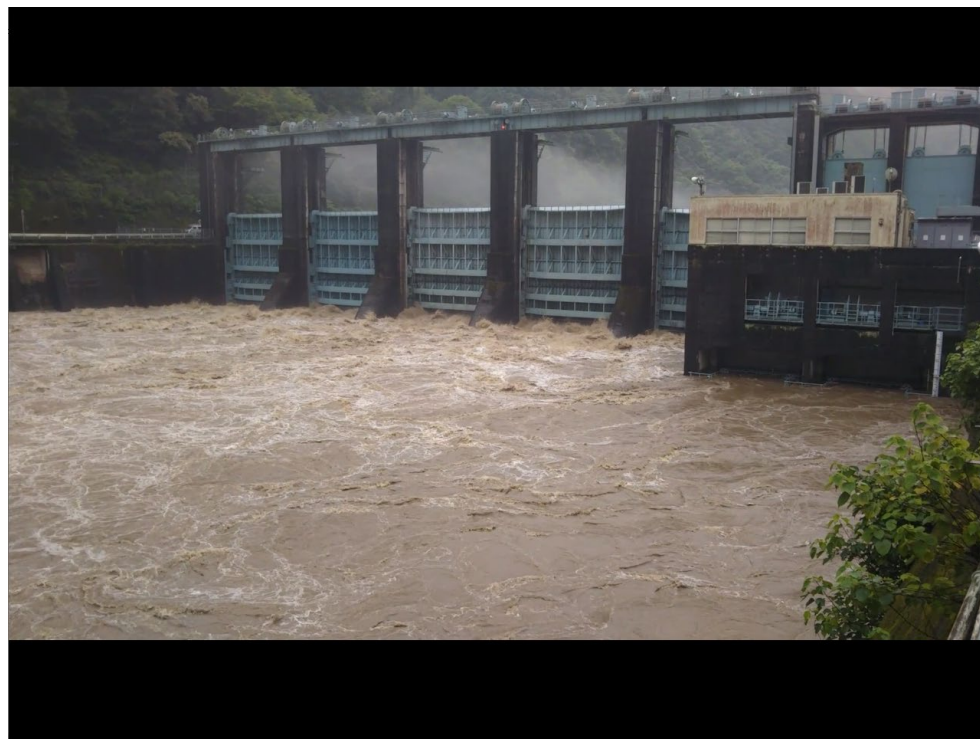
②通砂／排砂運用概要

- ・2018年6月18日9時30分より瀬戸石ダムの水位を通砂／排砂運用水位に向けて低下開始
- ・2018年6月20日5時00分より、通砂／排砂運用水位を維持
- ・2018年6月20日11時00分に最大流入量3,051m³/秒となる
- ・その後、流入量が減少したが、梅雨前線の影響による降雨が予想されていたことから通砂／排砂運用水位を維持
- ・流入量の減少により2018年6月22日13時00分に通砂／排砂運用を終了し、瀬戸石ダムの水位を回復

③通砂／排砂実施中の水質、現場巡視結果

- ・通砂／排砂実施中の濁度は、既往の同規模出水時の実績と大きな差はなかった。
- ・通砂／排砂実施中の現場巡視の結果、ダムおよびダム湖の異常等は確認されなかった。

2. 状況写真



瀬戸石ダム通砂／排砂運用中状況(2018年6月20日11時37分、3,020m³／秒 放流状況)